平成２４年度に生ごみ処理機等購入費助成を受けた方に対するアンケート結果（２５年度実施）

１　調査対象

平成２４年度に購入助成を受け、生ごみ処理機等を購入した８０人

- 電動生ごみ処理機は、生ごみを電気熱で乾燥させ、粉砕して減らしたり（乾燥式）、生ごみを電気で保温、かく拌しながら、微生物により分解し減らす方式（バイオ式）
- コンポストは、土の上に置き常温で生ごみを微生物により分解し、減らす方式
- 密閉式容器は、屋内に置き嫌気性微生物により分解し、液肥と堆肥を取り出す方式

２　調査方法

郵送によるアンケート用紙の送付及び回収

３　回答数

７２人（回答率９０％）

- 電動生ごみ処理機購入費助成者２０人中、１８人から回答（回答率９０％）
- コンポスト購入費助成者５９人中、５３人から回答（回答率９１％）
- 密閉式容器購入費助成者２人中、２人から回答（回答率１００％）
  ※　うち１名は、コンポストと密閉式容器を各１台購入

４　調査項目

現在の使用状況、堆肥化の成否、臭気・音、完成した堆肥の利用、虫の発生、機器の使用と日常生活の変化、購入後の感想、工夫した点や気がついたこと

５　結果概要

１）現在の使用状況

- 電動生ごみ処理機は、１８人中、８３％にあたる１５人が使用中である
- コンポストは、５３人中、８９％にあたる４７人が使用中である
- 密閉式容器は、２人中、１００％にあたる２人が使用中である

２）堆肥化の成否

- コンポストは、５３人中、８３％にあたる４４人が「うまくいった」と回答
  一方、１７％にあたる９人が「うまくいかなかった」と回答
- 密閉式容器は、２人中、１００％にあたる２人が「うまくいった」と回答
- 電動生ごみ処理機は設問なし

3) 電動生ごみ処理機での臭気･音

- ５０％にあたる9人が「気になる」と回答
- ５０％にあたる9人が「気にならない」と回答
- コンポスト･密閉式容器は設問なし

4) 電動生ごみ処理機での乾燥後の処理物の利用（複数回答）

- １７％にあたる3人が「土や落ち葉と一緒に寝かせ、堆肥完成後、家庭菜園やプランターなどに利用している」と回答
- ７８％にあたる１４人が「そのまま土に入れ、家庭菜園やプランターなどに利用している」と回答
- １１％にあたる2人が「人にあげている」と回答
- １７％にあたる3人が「燃やせるごみに出している」と回答
- コンポスト･密閉式容器は設問なし

5) 生ごみ処理機等を使用して、日常生活で変わったこと（複数回答）

ア 冷蔵庫を確認し、食料の買いすぎに注意するようになった

- 電動生ごみ処理機は、３３％にあたる6人が「はい」と回答
- コンポストは、２５％にあたる１３人が「はい」と回答

イ 調理のとき、生ごみを多く出さないように気をつけるようになった

- 電動生ごみ処理機は、５０　％にあたる9人が「はい」と回答

ウ 食べ残しが出ないよう、食事の作りすぎに注意するようになった

- 電動生ごみ処理機は、２２％にあたる4人が「はい」と回答
- コンポストは、２１％にあたる１１人が「はい」と回答

エ 食品以外でも、使い捨て商品や、不必要な安売り品などを買わないようになった

- 電動生ごみ処理機は、6％にあたる1人が「はい」と回答
- コンポストは、8％にあたる4人が「はい」と回答

オ ごみの発生･処理問題、リサイクルに興味を持ち、家族などで話す機会が増えた

- 電動生ごみ処理機は、１７％にあたる3人が「はい」と回答
- コンポストは、３４％にあたる１８人が「はい」と回答
- 密閉式容器は、５０％にあたる1人が「はい」と回答

カ 今回の購入前から、上記のアからオまでのことを、1つ以上実践してきた

- 電動生ごみ処理機は、11%にあたる2人が「はい」と回答
- コンポストは、45%にあたる24人が「はい」と回答
- 密閉式容器は、50%にあたる1人が「はい」と回答

6) 購入後の感想 (複数回答)

ア 使用方法がよくわからなかった

- コンポストは、4%にあたる2人が「はい」と回答

イ 別のタイプも検討すべきだった

- コンポストは、4%にあたる2人が「はい」と回答

ウ 容量の選定ミス (小さすぎた・大きすぎた)

- 電動生ごみ処理機は、11%にあたる2人が「はい」と回答
- コンポストは、13%にあたる7人が「はい」と回答

エ 内部の洗浄が面倒である (電動生ごみ処理機のみ)

- 電動生ごみ処理機は、28%にあたる5人が「はい」と回答

オ 満足している

- 電動生ごみ処理機は、61%にあたる11人が「はい」と回答
- コンポストは、66%にあたる35人が「はい」と回答
- 密閉式容器は、100%にあたる2人が「はい」と回答

7) 使用に当たって、工夫した点や気がついたこと (機種別)

電動生ごみ処理機

ア 機器の使い方に関する記述

- 生ごみの量がある程度、蓄積されてから稼働したほうが節電につながるような気がする
- 冬季間、コンポストが使えないので重宝している
- 電気代に影響があるので、たまってから回すようにしていた
- 大変有意義に使用している

イ 臭気に関する記述

- 少し匂いが気になるので、車庫などに入れて使っている
- 10 年前に使っていた機種より良くなった

ウ その他の記述

- 夏はコンポストを利用して、冬は電動生ごみ処理機を利用している
- もう少し補助金が出たら、周りもふみ切れるのではないか
- 環境に少しでも貢献したい
- 音と臭いが気になるため、室内では使用止め、車庫に専用スペースを設けて使用予定

コンポスト

ア 現在、使っていない理由

- 冬は雪に埋もれている
- コンポストが雪の中に埋もれているため
- 12月～3月まで雪のため使用出来ない

イ 生ごみ堆肥化がうまくいかなかった理由

- 堆肥にならず、生ごみのままだったから
- たくさん入れ過ぎて、なかなか堆肥にはならない
- 気温が下がると生ごみのままとなった
- 次から次へと生ごみを入れるので追いつかない（冬凍る）

ウ 虫の発生に関する記述

- 殺虫剤を併用　土をかぶせる
- 7・8・9月は、月1回殺虫剤噴射
- 生ごみ発酵促進剤・脱臭剤等を使用している
- たばこの吸い殻を入れる
- ハーブ　または木酢等を少量入れている
- 土を多めに入れ、時々小バエ用殺虫剤をかけている
- 防虫剤をふたの内側につったり、生石灰をまいたりした畑の土と生ごみを層になるようにした
- 落ち葉の投入、土や米ヌカを一番上に敷いた
- トイレ用のミニ（ボール）芳香剤をコンポストにぶら下げて使用
- 固形の防虫剤の使用
- 木酢液を使う
- すぐふたを閉めるようにした

- コンポスト用の防虫剤を入れ、ごみが減ったら、なるべく早く土を入れる
- 生ごみを入れるたびに土をかぶせた
- コンポストを2個購入して、1つが堆肥化するまで開けないで、相互に使用するようにすると良い
- なるべく多く、土をかぶせて対応していました
- かく拌をまめに行う
- 熱湯をかける
- フタの密閉をすることだけ気をつけた
- 生ごみに草や土を被せると、虫は発生しにくい
- 生ごみを入れた後、枯れ草やおがくずを被せる
- ハーブの葉を入れ、薄めた酢をスプレーする
- コンポストに生ごみを入れる時、交互に生ごみ・土・促進剤・草・生ごみ・土・促進剤　順不同だが、必ず発酵促進剤を入れることとしたら防臭になった。それに殺虫剤も入れているので、虫も発生しなかった
- 虫が発生しないように思考している
- 薬品の使用と砂、切り返しの実施

エ 機器の使い方に関する記述

- 堆肥化に時間がかかるので、複数のコンポストを使用
- コンポストの設置場所を毎年移動させると、肥料の有効活用ができる
- 発酵促進剤を使って効果的に使用できた
- 生ごみを入れたら出来るだけスコップ等を使って、細かくしてやる事が早く堆肥になりやすい
- コンポストを浅く埋めると、ネズミに襲われたので、コンポストの周囲に鉄板を打ち込んだ
- 穴を掘り、生ゴミを畑にあける作業が大変だ
- なるべくコンポストに入れる物を細かくしてから、捨てるようにした
- 堆肥化が遅いものは、入れずに庭に積み上げたなど、工夫して別コーナーを設けた
- 風の強い場所で、フタが壊れてしまった
- コンポストを2個使用しているので、1個は満杯の状態で1年寝かせ、堆肥化を待つ
- ネズミに荒らされたので、土を15㎝位掘って設置し、コンポストの底には網を張り、回りに石を敷いた
- ごみを細かく刻んで土に混ぜると分解されやすい
- 土中に埋めやすく標示棒を立てておき、逐次埋めていった
- コンポストの下を同程度掘り下げ、容積量を数倍にし、コンポストを2個使用しているので、1個は満杯状態で1年寝かせ堆肥化を待つ。（但し落下に注意する必要がある）

オ 日常生活の変化に関する記述

- 自宅周りの落ち葉処理と自宅精米後の米ヌカも生ごみと一緒に入れるようになった

- 住宅が密集していて、広い庭があるわけでもない、臭いや虫が心配で、なかなか使えなかったが、夏場の可燃ごみが減り、早く使えばと思った
- 今までごみとして捨てていたものを生かせる生活になった

カ その他の記述

- 発酵促進剤や防虫剤、防臭剤の購入にお金がかかった
- 固形式の生ごみ防臭剤を使用している
- 肥料として、畑に利用しているので、肥料の購入が少なくなって良い
- 虫とネズミ対策が課題です
- 堆肥になりづらい枝は捨てない
- 一年中使える物が良いが、臭いや購入時の金額のこともあり、検討が必要と痛感した
- 冬はコンポストが雪の下になりますので、どうしてもゴミの日に出してしまう
- 電動生ごみ処理機などは、いいのですが値段的に高くて、コンポストみたいに手頃に買えるなら良い
- 自然に燃やせるごみに出していた、生ごみをコンポストに入れる事によって、燃やせるごみの量も減り、畑の堆肥も作れて、コンポストを使用してみて良かったと思います
- フタなどが3～4年しか持たないので、今後も助成を受けられるようにして欲しい
- 以前なかった黒色のコンポストが販売されている。黒色の方が堆肥化は進む気がしました
- コンポストを使用するようになってから、生ごみを捨てる（ゴミに出す）ことがなくなり、肥料になるのでとても良かった
- ごみの量も、かなり減りリサイクルやごみ減量について考えるようになり、もっと早く利用すれば良かった
- 生ごみをごみとして出さないで、畑の肥料になり、大変助かっている
- 冬でも使用している

密閉式容器

ア その他の記述

- 密閉式容器を購入して堆肥を埋めると、カラスがきて全部掘り出して食べてしまう

6 総括

1) 生ごみの減量について

購入者は、完成した堆肥を家庭菜園などに利用している方が多く、家庭から出る生ごみの減量につながっており、リサイクル意識の向上や日常生活が変化した、との記述もみられ、購入費助成の目的は達成されたものと判断される。

2) アンケートから導き出される注意点

ア 電動生ごみ処理機
音が気になったり、臭気を放つので、機種の選定や設置場所については、事前に、それぞれの特徴を考慮してください。

イ コンポスト
小動物に荒らされたり、虫の発生などへの対策や、臭気、発酵促進の工夫が多数寄せられていましたので、参考にしてください。

ウ 密閉式容器
屋内設置ができ、求めやすい価格ですが、強い臭気の液肥と堆肥を取り出す方式であることを考慮し、使い方や利用方法に留意して使用してください。

3) 購入・使用にあたって

ア 電動生ごみ処理機（乾燥式）
屋内用となっており屋外では使用できません。購入前に置き場所があるかを検討してください
水を切って乾かした生ごみを入れたり、深夜電力を活用すると電気代が節約できます。

イ 電動生ごみ処理機（バイオ式）
屋外設置型は、おおむねー5℃以下の場所では使えないので注意してください。
乾燥式と比較すると電気代は安いです。
培養基材（チップ）の購入が必要になります。

ウ コンポスト
購入前に、置く敷地を検討してください。
購入後、土を掘って、コンポストを低く設置します。
生ごみを入れたら、すぐ上から土をかけてください（場合により、発酵促進剤、防虫剤が必要）
肉や魚、魚のアラを多く入れると臭くなります。野菜類のみだと余り臭くなりません

骨や肉の脂身、とうもろこしの芯、殺虫剤をかけている果物の皮は、分解しません
処理物が熟成したときは、コンポストを外し、深く土をかけるか、石を置いた板を敷くなどし、その場所が小動物に掘り返されないようにしてから、設置場所を移動させます。

エ　密閉式容器

屋外設置もでき、冬でも使用できます。
中身を堆肥として利用できるだけでなく、底に溜まる液肥を希釈して植物に吹きかけるなどの使用ができます。ただし、液肥は空気に触れると強い臭気が発生しますので注意してください。
水を切った生ごみを入れ、ＥＭボカシをふりかけ、しゃもじ等で生ごみのすき間を詰めて、空気を押し出します。

※いずれの機器も、使用にあたっては取扱説明書に書いてあることがらをよく守り、きちんと維持管理をしながら、ごみの減量化につなげてください

千歳市　市民環境部　環境センター　廃棄物対策課　資源循環推進係

066-0012 北海道千歳市美々758 番地 54.　電話 0123-23-2110.　FAX 0123-23-2492